

大聖堂へようこそ



The Cathedral Church of
Saint John the Divine

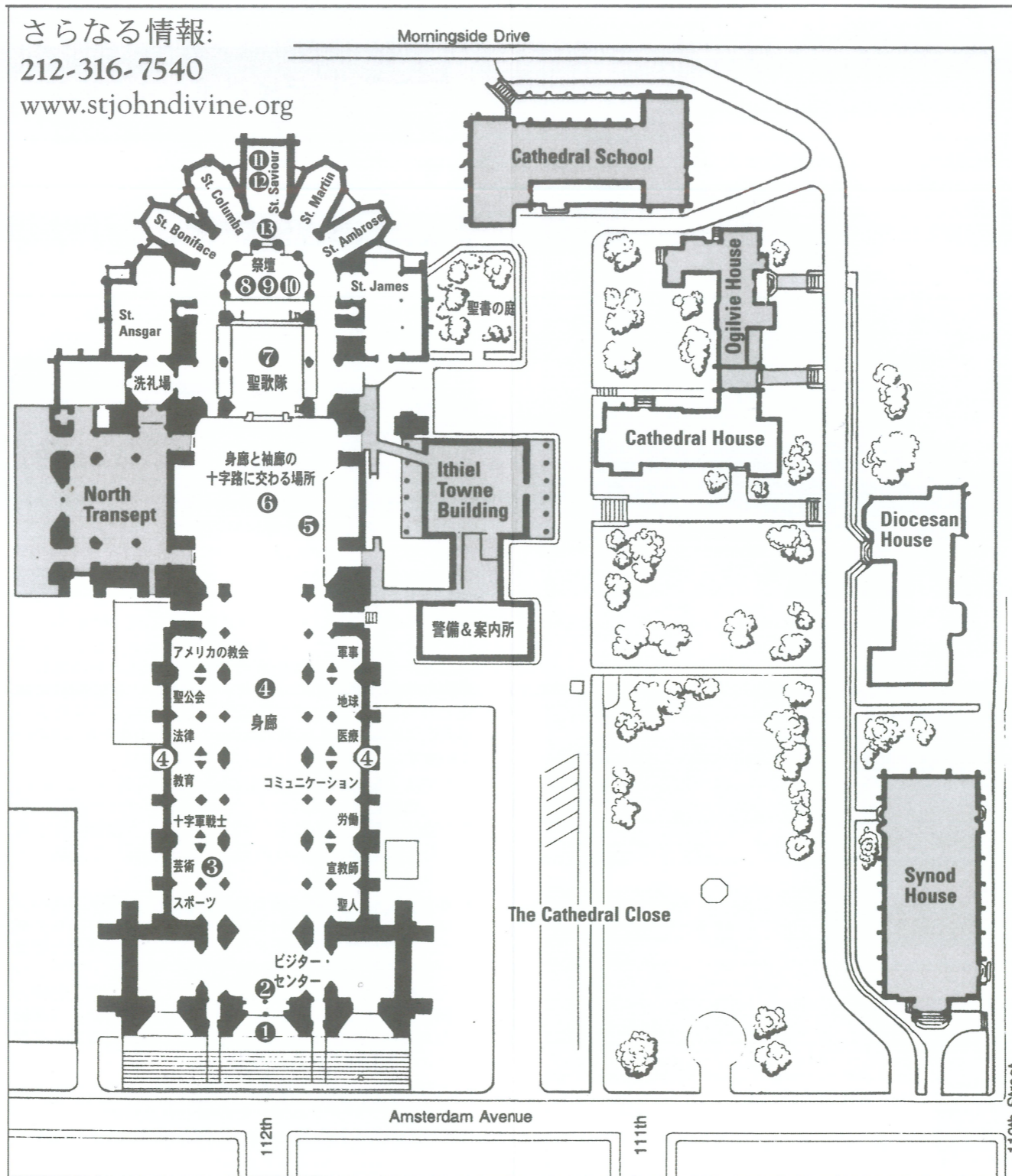
セルフガイドのハイライト・ツアー

- 自由の女神も手がけたパリのバルベディエンヌ (Barbedienne) によって製造された青銅製のグレート・ブロンズ (Great Bronze) と呼ばれるドアは、それぞれ高さ 18 フィート、幅 6 フィート、重量 3 トンもあります。ドアは旧約聖書および新約聖書に登場する場面を浅浮彫りで彫り込んだ 60 のパネルからなっています。
- 西側にある壮大な直径 40 フィートのグレート・ローズ (Great Rose) と呼ばれる窓は、米国最大のもので、チャールズ J. コニック (Charles J. Connick) 氏により設計されたこの窓には、10,000 部以上のガラスが使用されています。その中央のキリストの像は高さ 5 フィート 7 インチもあります。
- 詩人コーナーはアメリカ文学の偉人達をほめたたえるもので、その名前はフロアへの銘板に刻まれています。中でも特に名譽ある作家達は、マーク・トゥエイン、ワシントン・アービング、エドガー・アラン・ポー、エミリー・ディキンソン、アーネスト・ヘミングウェイ、F. スコット・フィッツジェラルド、ナサニエル・ホーソン、ヘルマン・メルヴィル、およびガートルード・スタインなどです。
- 壮大なゴシック風の身廊には、専門的知識と人類の努力をたたえる 14 のテーマを持つ柱間があります。その一つ一つに、1925 年のテレビの原型、人間の骸骨、セント・ジョージとドラゴン、およびミケランジェロが彫ったダビデ像などを含む宗教的および世俗的なイメージのテーマ場面を描写するステンドグラスの窓があります。多数の柱間掛けられている「使徒言行録」のタペストリーは、ラファエルが 16 世紀に描いた絵画に基づいています。
- 本大聖堂の財産にはバルベリー二姫のタペストリー (Barberini Tapestries)、「キリストの生涯」からの場面もあります。12 の作品は 17 世紀にローマで教皇の機械機で作成されました。
- 大きなクロッシング (身廊と袖廊が十字路に交わる場所) を覆っている美しい浅いドームは、1909 年にラファエル・グスタヴィーノ (Rafael Guastavino) によって近代の屋根として選ばれたもので、わずか 15 週間で完成しました。自由の女神からその土台を除いたら、この巨大な建築物の中にゆったりとおさまることでしょう。
- 本大聖堂の聖歌隊席は米国のロマネスク建築の最もすぐれた一例です。
- 高い祭壇 (High Altar) を取り巻く 8 本の壮大な御影石の柱は、メイン州ヴァイナルヘイブン (Vinalhaven) 島で切り出されたものです。柱はそれぞれ高さ 55 フィート、直径 6 フィート、重量 130 トンです。
- 2 つの 12 フィートの大燭台は 1930 年にマニング司教 (Bishop Manning) によって奉納されました。この燭台はニューヨーク・タイムズ の設立者兼発行者であり、アドルフ・オクス (Adolph Ochs) によって寄贈されたものです。
- 2 つの七宝細工の花瓶は、1926 年、当時の日本の天皇陛下、裕仁天皇からの贈り物です。
- 2 つの金箔がはられたチーク材の祈祷用チェストは、1930 年にタイ国王 (King of Siam) から寄贈されたものです。
- 1989 年にキース・ハリング (Keith Haring) によって作製されたこの銀製のトリプティックはロシアの聖画とされています。キリストの生涯を説明するものあり、それはこの芸術家が 1990 年代に死去する前に作製された最後の彫刻作品となっています。
- 高い祭壇 (High Altar) に囲まれたチャペル・オブ・タンク (Chapels of the Tongues) は、19 世紀後半から 20 世紀初頭に米国に移住してきた 7 つの民族にささげられたものです。その建築様式はノルマン様式から盛期ルネッサンス様式に及んでいます。

さらなる情報:

212-316-7540

www.stjohndivine.org



歴史

本大聖堂の長い歴史は今も続いており、皆様は「現在」の章を経験されているわけです。それは驚くべき物語です。そのハイライトをいくつかここにお話ししましょう。

セント・ジョン・ザ・ディバイン大聖堂 (St. John the Divine) はモーニングサイド・ハイツ (Morningside Heights) のアメリカ版アクロポリス (Acropolis) を特徴付けるものとして考えられていました。その隣接する施設には、セント・ルーカス-ルーズベルト病院 (St. Luke's-Roosevelt Hospital)、コロンビア大学 (Columbia University)、バーナード・カレッジ (Barnard College)、ユニオン神学校 (Union Theological Seminary)、リバーサイド教会 (Riverside Church)、ユダヤ神学校 (Jewish Theological Seminary)、バンクストリート教育大学 (Bank Street College of Education)、マンハッタン音楽学校 (Manhattan School of Music) などがあります。

重要年表

1785 ニューヨーク・エписコパル派教区 (Episcopal Diocese of New York) が設立される。

1828 元ニューヨーク市長フィリップ・ホーン (Philip Hone) および司教ジョン・ヘンリー・ホバート (Bishop John Henry Hobart) が大聖堂の計画について非公式に会談。

1872 教区大会 (Diocesan Convention) にて司教ホラティオ・ポッター (Bishop Horatio Potter) が大聖堂建設の議題を持ち上げ、全員一致で承認される。

1873 州議会がセント・ジョン・ザ・ディバイン大聖堂憲章 (Charter for the Cathedral Church of St. John the Divine) を交付する。

1888 13 エーカーのリーク&ワッツ孤児院 (Leake and Watts Orphan Asylum) が未来の大聖堂の敷地として選ばれる。

1891 ニューヨークの建築会社、ヘインズ&ラ・ファージ (Heins and LaFarge) がビザンチン様式とロマネスク様式の建築案で内外から公募した大聖堂の設計に選ばれる。

1892 12月27日、セント・ジョンの日に礎石が据えられる。

1911 大聖堂の東端が奉納される。ラルフ・アダムス・クラム (Ralph Adams Cram) が新しい大聖堂の建築家に任命される。

1925 礎石が身廊に据えられる。

1941 真珠湾攻撃の1週間前に大聖堂がその奉納式にて 601 フィートの長さの姿をあらわす。

1979 建設が再開される。カテドラル・ストーンワーク (Cathedral Stoneworks) が地元の若者を石工としてトレーニングするために設立され、南塔 (South Tower) の建築が始まる。

1994 南塔の建築が終了する。大聖堂の保存および全体的完了に向けての敷地改善のイニシアティブに乗り出す。

2001 12月の火災により大聖堂の北袖廊が焼け落ち、大聖堂内部にも煙による大規模な破損が生じる。

2003 大聖堂の火災後の瓦礫撤去および復元が始まる。